

簡易ルールブック

“ディベート王に俺はなる！！”
～ド〇えもんは必要な存在か？～

LSS企画

担当者：古瀬清郁

kose.sayaka639@mail.kyutech.jp



目次

- 企画主旨
- ディベートとは？
- ルール説明
- 当日の流れ
- 必要なもの



企画主旨

“ディベート王に俺はなる！！”～ド〇えもんは必要な存在か～



- ・ディベート＝議論を戦わせる
 - ➡スピーチ力、説得力、情報処理能力...
 - ➡社会人になっても必要！
- ・コロナ禍での人とのつながり
 - ➡ディベートを通して！



ディベートとは？

“議論を戦わせる”

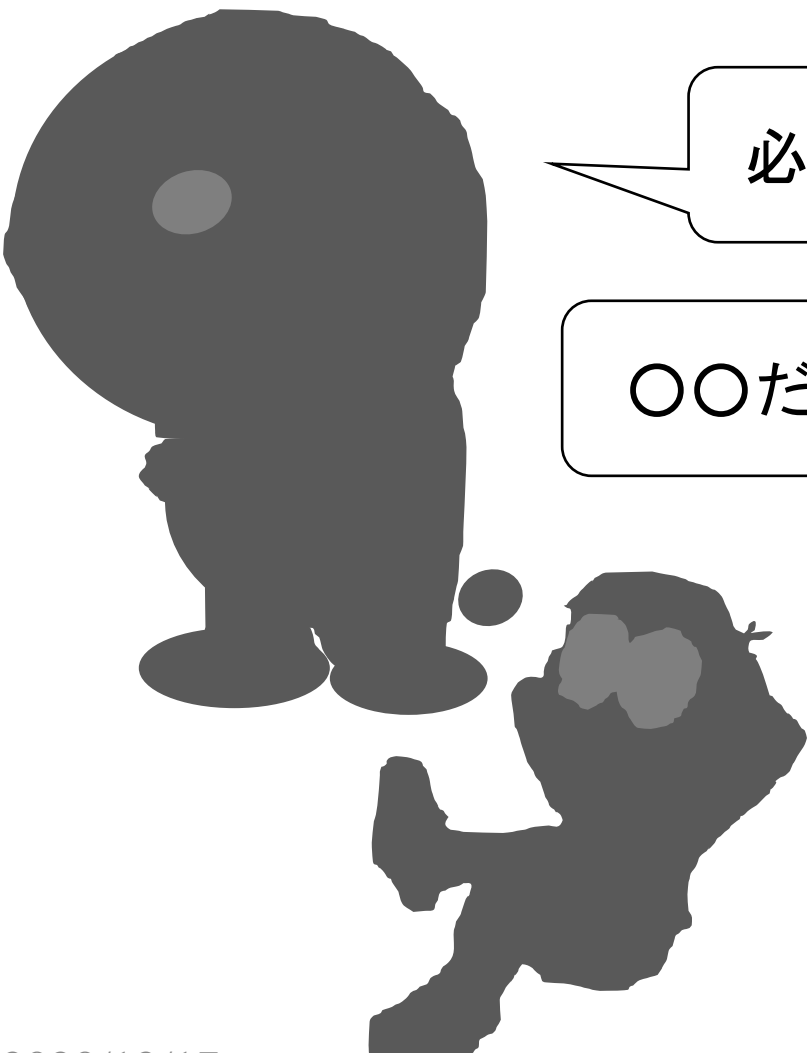
2つの対立する立場に分かれて、
討議を行うことで**説得力**を競い合う競技

言葉のスポーツ



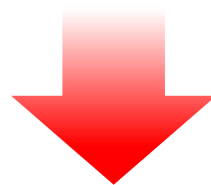
ルール説明 ～議題～

議題：「ド〇えもんは必要な存在か？」



必要に決まってるだろ！？だって...

〇〇だし、いらないんじゃないかな？



議題に対して
「賛成 or 反対」に分かれる
➡当日ランダムに振り分け

ルール説明 ～ディベートの流れ～

＜肯定＞＝必要である

立論(5分)

準備(2分)

質疑(3分)

準備(2分)

反駁(4分)

＜否定＞＝必要でない

準備(2分)

質疑(3分)

立論(5分)

準備(2分)

反駁(4分)

合計：32分

“立論”

自分の立場や根拠を示す
＝なぜ賛成？反対？かを説明する

<構成>

①**立場表明**：「私は議題に賛成です/反対です。」

②**根拠**：「なぜなら〇〇だからです。」

③**具体的なメリット/デメリット**

：「〇〇によって～～というメリット/デメリットがあります。それは△△なので明らかです。」

④**結論**

：「以上によって、～～というメリット/デメリットが確かめられるので、この議題に賛成です/反対です。」

ルール説明 ～準備～

“準備”

グループ内でどのように、何を発表するのか意見をまとめる

zoomのブレイクルームに移動してもらいます。

ディベート前の準備は15分ありますが、ディベート中は2分(×2回)しか準備する時間がありません。

効率良くまとめられるように事前に自分の意見はまとめてきてください。

“質疑”

相手の立論に対して不明点を質問する。

※質問者は相手に反論する場でない！

<要領>

①「賛成/反対側に質問します。」

②質問・確認

「〇〇と言っていました間違いありませんか？」

「〇〇と言っていました、その具体的な数値は？」

⇒すぐに答えが出なければ「結構です。」と言って次の質問につなげる(答えられない=審判に悪印象)

<ポイント>

- ・相手に補足説明させないようYES/NO質問をする
- ・こちらが反駁の際に必要な材料を集める

“反駁(はんぱく)”

相手の立論や質問に対して反論する。

※相手の立場を攻撃してはいけない！

<要領>

①「賛成/反対側の〇〇という論点に反駁します。」

②理由

「このメリット/デメリットは発生しません。なぜなら～～。」

「これはむしろデメリット/メリットです。」

「これは議題とは関係ありません。」

「これは発表者の個人的感想です。」

「これは事実ではないです。なぜなら～～。」



ルール説明 ～注意点～

<その他の細かい注意点>

- ・立論以降に別の主張を付け足すのは禁止(新出議論禁止)

=立論中に全ての理由を述べる

→進出議論は無効となる

- ・全ての論点に反駁しない場合、「反駁できなかった」とみなされる。

→相手の立論や質問をメモしておく

- ・相手の人格を否定するような言動は禁止

- ・審査員から見て「説得力があった方」が優勝する



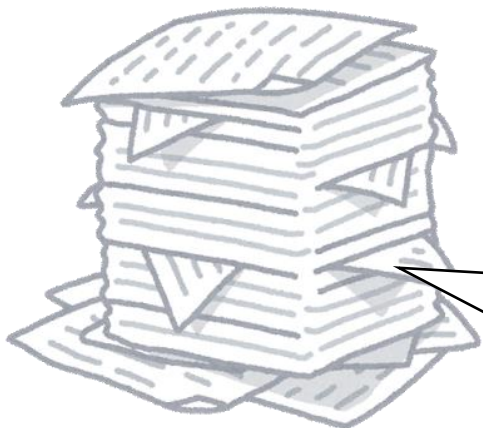
当日の流れ

時刻	内容	時間
16 : 00~	ルール説明	5分
16 : 05~	グループ分け&準備	15分
16 : 25~	ディベート	35分
16 : 50~	勝敗発表	5分
16 : 55~	総括	数分



必要なもの

意見をまとめたもの(根拠・証拠)



賛成/反対のどちらの意見もまとめておくこと

メモ帳

相手の立論・質問などを記録しておく



Zoomに参加できればOK

インターネット環境



PC・タブレットなど



飲み物などは各自用意してください